

インフルエンザ流行情報について

本県において、季節性インフルエンザが流行期に入りましたのでお知らせいたします。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、今冬は、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されており、県では、19,000人/日の発熱患者を想定し、診療体制等の整備を進めております。

県民の皆様には、引き続き感染症対策の徹底にご協力をお願いいたします。

■インフルエンザ流行情報

本県における2022年第52週(2022年12月26日～2023年1月1日)のインフルエンザの定点当たりの患者報告数が、流行開始の目安である1.00を超え1.33(51週は0.43)となり、**インフルエンザが流行入りしました。今年、2019年以降3年ぶりの流行入りとなります。**

保健所管内別では、古河保健所管内(5.00)が最も高く、竜ヶ崎(2.75)、水戸市(1.25)、筑西(1.18)、潮来(1.00)の保健所管内で1.00以上となっています。

茨城県衛生研究所において、今シーズンに入ってから(2022年9月5日～)2022年12月27日までの期間に検出されたインフルエンザウイルスは、すべてAH3(型)となっております。

県民の皆様には「手洗いの励行」、「咳エチケットの実践」、「予防接種」等、インフルエンザの予防をお願いいたします。

《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

第52週の値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

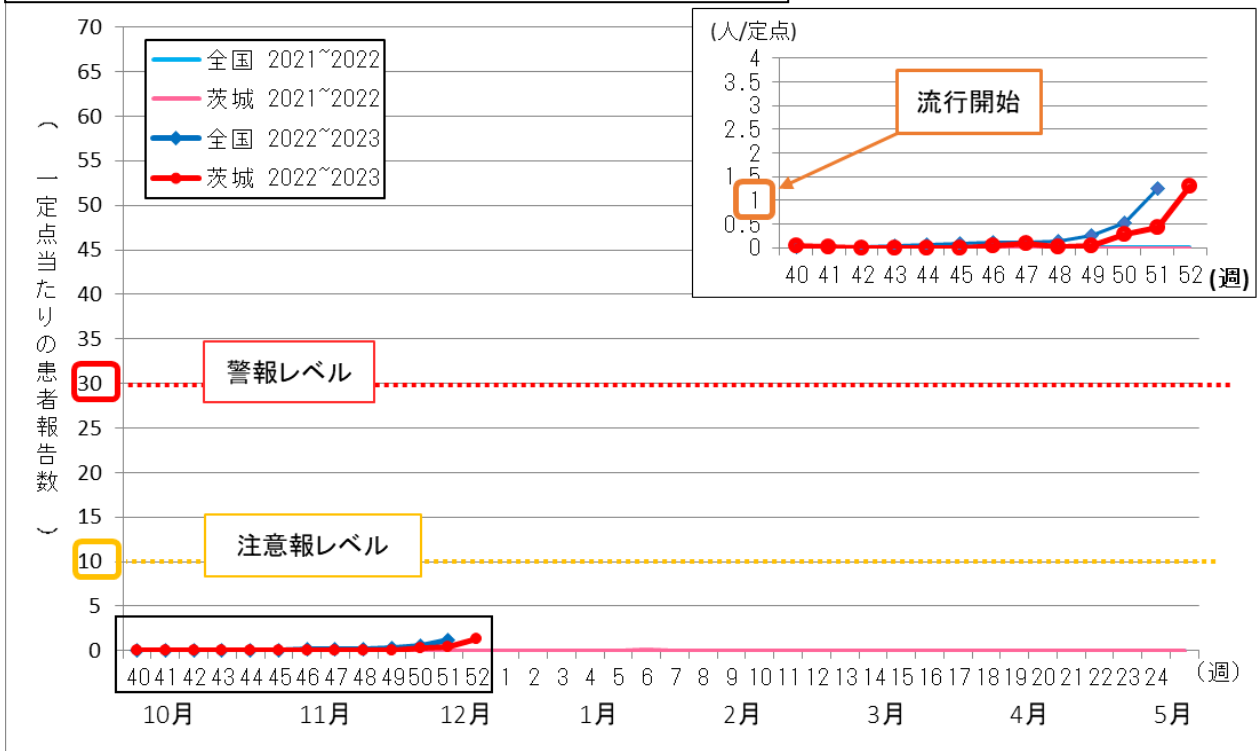
保健所	定点数	調査機関： 第52週(2022.12.26～2023.1.1)	
		患者数	定点当たりの患者報告数※
中央	5	3	0.60
ひたちなか	16	10	0.63
日立	11	1	0.09
潮来	13	13	1.00
竜ヶ崎	16	44	2.75
土浦	11	1	0.09
つくば	15	9	0.60
筑西	11	13	1.18
古河	10	50	5.00
水戸市	12	15	1.25
県全体	120	159	1.33

※ インフルエンザの定点当たりの患者報告数は、1定点あたり1週間の平均患者数

$$\text{インフルエンザの定点当たりの患者報告数} = \frac{\text{インフルエンザ定点において1週間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ定点数(県内に120医療機関[2023年1月5日時点])}}$$

・ 定点当たりの患者報告数が1.00を超えると流行期に入ったと判断します。

感染症発生動向調査(定点当たりの患者報告数の推移)※



※値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

- ① 定点当たりの患者報告数が**基準値(注意報: 10 警報: 30)**を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。また、県全体において定点当たりの患者報告数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。
- ② **注意報**：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。
警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
 なお、警報の解除は終息基準値(10)を下回ったときになります。

■過去シーズンの流行入り時期

シーズン	2018~2019	2019~2020	2020~2021	2021~2022	2022~2023
流行入り週数	第49週 (2018/12/3~9)	第45週 (2019/11/4~10)	なし	なし	第52週 (2022/12/26 ~2023/1/1)

参考1 インフルエンザの予防について

◆ インフルエンザの感染予防のポイント【インフルエンザと新型コロナウイルスの予防方法は変わりません！】

☆予防接種

☆外出後の手洗い等

- ・手にウイルスがついたままにしないことが大切です
- ・アルコール製剤による手指衛生も効果があります

☆適度な湿度の保持

- ・室内では、加湿器などを使って乾燥を防ぎましょう

☆十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

- ・体の抵抗力を高めるため、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう

☆飛沫感染の予防

- ・人混みに入る可能性がある場合には、マスクを着用し、飛沫感染を防止しましょう

☆室内ではこまめに換気をしましょう

- ・十分な換気が重要です
- ・一般家庭でも、換気扇により、室温を大きく変動させることなく、換気を出来ます

☆咳エチケット

- ・マスクをしましょう
- ・咳やくしゃみをする時は鼻や口をおさえましょう



【厚生省ポスター】
「みんなで予防 インフルエンザ」

◆ インフルエンザにかかった場合の対応

- ・早めに医療機関を受診しましょう。
- ・安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- ・一般的に、インフルエンザを発症してから3～7日間はウイルスを排出すると言われていますので、その間は外出を控えましょう。

【インフルエンザ流行情報(2022～2023シーズン)】全国の状況については下記のページをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html

※毎週金曜に更新

参考2 新型コロナウイルス感染症「陰性」の発熱患者について

発熱等の症状があり、新型コロナウイルスの抗原検査キットによる自己検査等で「陰性」の場合、「診療・検査医療機関」以外でも診療可能な医療機関がございます。

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/documents/221209inseikanja.pdf>

※受診前に医療機関に必ず電話連絡し、通院時間を決定してください。

また、通院時間を厳守し、マスクを着用してください。